

提案名：

アイドルファンがつなげるファンのまち

提案団体名：宇都宮大学 アイドルとまちづくり研究会	
所属	宇都宮大学 地域創生科学研究科
メンバー	◎趙 子凌, 李 世豪, 蔣 婷怡, 銭 汀芷
指導教員	中村祐司

【提案の要旨】

現在、地方の多くは「過疎化」、「若者不足」、「活力不足」のような問題を抱えている。そのため、全国の各地では若者をターゲットとした地域活性化プロジェクトが多く行われている。今一番注目されているのが「ローカルアイドル」である。2010 年代に入り、日本全国のさまざまな場所、都道府県や市町村において、特定の地域に根ざした「アイドル」活動（ステージで歌を歌ったり、ダンスを踊ったりのパフォーマンスや、多様なイベントへの参加）を行う者たちが数多く出現し、当該地域の振興に活かそうという動きが見られる。これと宇都宮市のまちづくりとの結び付けに注目した。

「アイドル」の大部分は、10 代から 20 代前半の女性複数人のメンバーから構成され、メンバーの生まれ育った（育っている）地域に拠点を置き、グループ単位で活動している。これらの「アイドル」は、「ご当地アイドル」「ローカルアイドル」「地方アイドル」「ロコドル」等いくつかの名称で呼ばれている。こうしたアイドルの活力をさらに多世代にも広げ、宇都宮市のまちづくりに生かしたいと考えた。

以上から本提案では、宇都宮市に存在するローカルアイドルグループとそこで多世代のファン繋がっていくことができる「アイドルファンがつなげるファンのまち」というプロジェクトを提案する。



アイドルファンが つなげるファンのまち

- ① 提案団体名：宇都宮大学 アイドルとまちづくり研究会
- ① 所属：宇都宮大学 地域創生科学研究科
- ① メンバー：◎趙子凌，李世豪，蔣婷怡，錢汀芷
- ① 指導教員：中村祐司

目次 CONTENTS

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 提案の背景 | 5. アイドルファンがつなげる可能性 |
| 2. 提案の目的 | 6. インターネットとウェブサイトの情報と調査の結果 |
| 3. ローカルアイドルとは | 7. 具体的な施策と問題点 |
| 4. アイドルグループの現状 | |

01

PART ONE

提案の背景

1. 地方の多くは「過疎化」、「若者不足」、「活力不足」のような問題を抱えている。
2. 2010年前後、メディアウェブサイトの高速発展、SNSアプリケーションが増加している。
3. ローカルアイドルといプロジェクトの成功例がある。

02

PART TWO

提案の目的

1. 栃木県のローカルアイドルとファンたちのつながり。
2. 栃木県のローカルアイドルと栃木県の魅力的なことを表わす。
3. 若い者を集めて、経済と知名度を向上させて、地域活性化を達成する。

03

PART THREE

ローカルアイドルとは

地元を本拠地として活動するアイドルのことである。

04

PART FOUR

アイドルグループの現状
(栃木県)

グループ名	拠点	活動期間	性別
とちおとめ25	宇都宮市	2011.12～	女性
T!P (ティップ)	宇都宮市	2011～	女性
Jelly Beans	栃木県	2012～2015.6	女性
Lovely☆Candy	さくら市	2015.5～2017.1	女性
チャリンコ戦隊 「姫レンジャー」	那須烏山市	2012.3～2018.8.2	女性
ガールズq/b	栃木県北	2014.11～	女性
渡良瀬橋43	足利市	2014～	女性
SANO ブランドール	佐野市	2014.8～	女性
プリズムベル	栃木県	2015～	女性
雷都少女	宇都宮市	2016.10～	女性
Lovin&S	栃木県	2015～	女性

05

PART FIVE

アイドルファンがつなげる可能性

1. アンダードッグ効果のチャンス。
2. 地元への愛着の増強。
3. 「とちおとめ25」を例として。

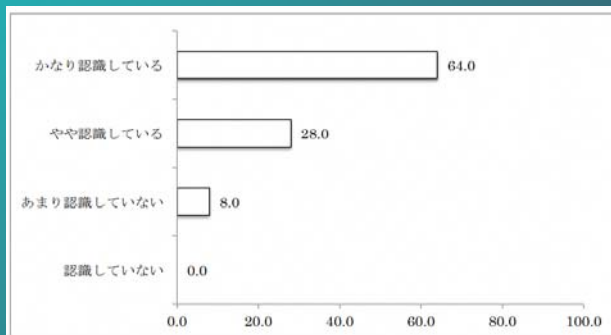
06

PART SIX

ローカルアイドルと地域活性化の
関連についての意識調査

コロナウイルスの影響に従って、現時点の調査は難しい。インターネットとウェブサイトの情報を頼り、調査の結果を出した。

（『まっふるご当地アイドル』（昭文社、2015年）約100組のアイドルを対象として。）

ローカルアイドルと地域活性化の
関連についての意識調査

北九州市立大学法学部政策科学科「ローカルアイドルと地域活性化を考えるアンケート調査報告書」

06

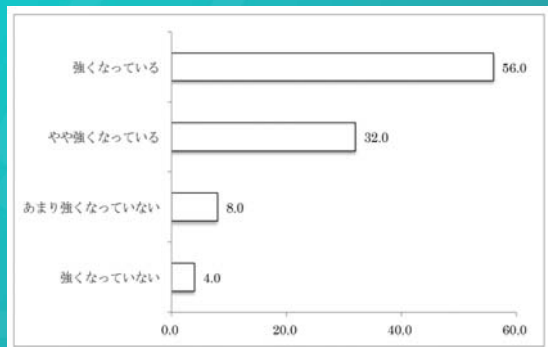
PART SIX

ローカルアイドルと地域活性化の 関連についての意識調査

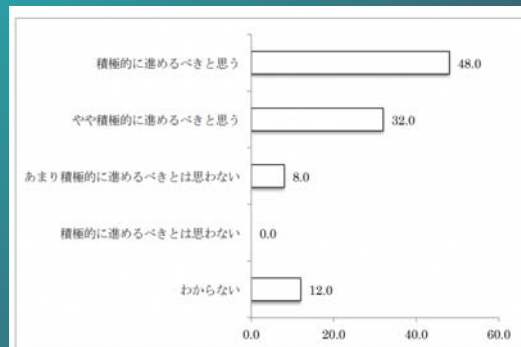
コロナウイルスの影響に従って、現時点の調査は難しい。インターネットとウェブサイトの情報を頼り、調査の結果を出た。

（『まっふるご当地アイドル』（昭文社、2015年）約100組のアイドルを対象として。）

地元とのつながり



地域活性化の推進

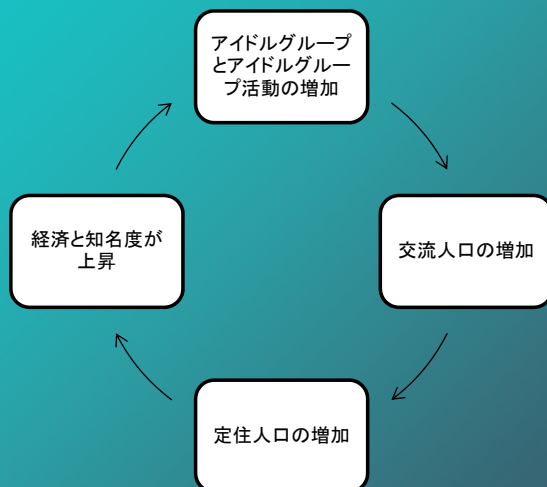


北九州市立大学法学部政策科学科「ローカルアイドルと地域活性化を考えるアンケート調査報告書」

07

PART SEVEN

具体的な施策提案と課題



07

PART SEVEN

具体的な施策提案と課題

1. 活動の場所
2. 地域からのバックアップ
3. 地域に対する継続的な活動



ご清聴ありがとうございました。

THANK YOU FOR WATCHING